



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

大震災からの復興と 原発事故への対応

福田明議員の一般質問から

2011年第2回
定例6月議会

市議会の一般質問が7月1日におこなわれました。福田明議員の質問の要旨を紹介します。

市の「津波対策」の再構築を

〔福田明議員〕津波対策の基本は「逃げる」ということだが、今回の大震災では本市の「半鐘」がほとんど機能しなかった。この教訓を踏まえて、市では防災・行政無線の検討に入っているが、その内容をうかがう。

〔柏豊嬉総務部長〕市庁舎を親局として、市内48箇所に無線による広報用スピーカーを設置し、平潟、大津の2ヶ所の漁港に屋外監視カメラを設置したいと考えている。

〔福田議員〕屋外へのスピーカー設置と同時に、各家庭に個別受信機があると災害時には心強い。両方設置してある大洗町では一人の犠牲者も出さず、余震・津波・停電・断水の情報を刻々と提供してきた。本市でも個別受信機の設置を検討すべきである。



護岸復旧

磯原町木皿地内、相田川の河口付近(7/8)

〔総務部長〕今後は、各消防分団長宅への、個別受信機の設置を検討すべきである。

〔福田議員〕昨年市がつくった「洪水ハザードマップ」は、津波は想定せず、大雨で大北川・花園川などが増水し、堤防が決壊したときの浸水範囲と、避難経路を示したものとなっている。新たに津波に対するハザードマップも作成すべきだ。

〔総務部長〕現在、「津波ハザードマップ」を作成中。マップには浸水区域に加え、避難場所、津波発生時の避難ルートなどを記載する。避難ルートの案内看板の設置も考えている。

復興策は住民の意向をふまえて

〔福田議員〕仮設住宅や雇用促進住宅の入居期間は原則1年間とされている。しかし、1年以内で新たに住む家を確保できる人ばかりはいない。まして高齢者世帯の方は困難。入居期限を2年以上に延長すべきである。

〔総務部長〕被災者の意向を見ながら、延長についても検討していく。

〔福田議員〕被災者は市税や国保税等の減免や徴収猶予、納期延長が受けられるとされているが、どの範囲の被災者が受けられるのか。そして現在のどのぐらいの世帯に適用されているのか。

〔総務部長〕半壊以上で適用される。納付日を過ぎた固定資産税では申請が728件で、すべて減免に該当している。

〔福田議員〕被害の最も大きかった大津、平潟、旧磯原などの被災地については復興計画をつくる考えはあるのかうかがう。

〔柏総務部長〕被災者の意向調査やパブリックコメントとともに、市民代表および有識者からなる震災復興計画策定委員会を設置して、市民協働の計画策定を考えている。

〔福田議員〕復興は、「住民が主役」でなければならぬ。現在、大津、平潟では被災者がバラバラに生活しているが、どう意見を集約するのか。

〔豊田稔市長〕被災者については各戸訪問して意見集約したい。

〔福田議員〕「早く戻りたい」という声も寄せられているが、家を新築できない人も多い。元の大津小跡地に公営住宅を建設すべきだ。また住民の要望があれば、浜通り一帯の区画整理をして、宅地ゾーンと漁業施設ゾーンを分けて街なみを整備するなどの考えもある。

〔総務部長〕街なみ整備や公営住宅は、震災復興計画の中で検討する。

〔福田議員〕市の「防災計画」には「原発事故対策」がない。原発の「安全神話」に陥っていたことの反映だ。早急に原発対策を盛り込むべき。

〔総務部長〕今回の教訓を踏まえて防災計画に取り入れていきたい。

〔福田議員〕放射線測定箇所を増やすべきだ。

〔総務部長〕市域を2kmごとに区切り、空間と土壌の「放射線量分布マップ」を文科省が作成する。6月28日より41箇所を調査がこなわれている。

原発事故と放射能汚染への対応

〔福田議員〕市の「防災計画」には「原発事故対策」がない。原発の「安全神話」に陥っていたことの反映だ。早急に原発対策を盛り込むべき。

〔総務部長〕今回の教訓を踏まえて防災計画に取り入れていきたい。

〔福田議員〕放射線測定箇所を増やすべきだ。

〔総務部長〕市域を2kmごとに区切り、空間と土壌の「放射線量分布マップ」を文科省が作成する。6月28日より41箇所を調査がこなわれている。

〔福田議員〕子どもたちが一番影響を受ける。対策をとるべきである。

〔芳賀健郎教育次長〕本市のばあい、子どもの健康に影響のあるレベルではないので、現時点では校庭の土の入れ替えをしなければならない状態にはないと考える。今後、文科省の調査等を踏まえて検討していく。

〔福田議員〕原発の危険性が明らかになった。エネルギー政策を転換すべきだ。

〔豊田市長〕自然エネルギー社会の構築は必要と考えるが、「脱原発」は現状からすればむしろ難しい。国の動向を注視していきたい。



震災後、初議会となる今回の一般質問は、8人の議員が登壇。質問のトップは福田明議員。福田議員は冒頭「4年前に豊田市長が12年ぶりに当選した最初の議会も私がトップバッターで質問した。そして今回の市長再選後、最初の議会も私がトップで質問。豊田市長とは何か因縁めいたものを感じる」と述べると、議場全体が一瞬なごみました。